学校番号	3010

令和8年度　　保健体育　　科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	1 単位	年次	2 年次
使用教科書	「現代高等保健体育改訂版」（大修館書店）						
副教材等	「現代高等保健体育ノート」（大修館書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

生涯の健康づくりと社会生活における心身の健康について学び、日常の行動を主体的に見直す力を養います。生活習慣やストレスへの向き合い方を理解し、よりよい健康管理ができるよう基礎的な知識と判断力を身につけていきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
健康的な生活行動を理解し、心身を一体として健康と安全を総合的に理解できるようになる。
【思考力、判断力、表現力等】
身近な健康問題に興味をもち、その解決方法について考えることができるようになる。
【学びに向かう力、人間性等】
健康や安全に対する社会的な取り組みを知り、個人的な対応と関連づけし、実践できるようになる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	健康の保持増進や生活上の健康・安全課題の解決に役立つ知識と技能を身につけ、自らの健康管理と環境改善に生かす。	健康の保持増進や生活上の健康・安全課題の解決に向けて、得た知識を活用しながら総合的に考え、判断し、その成果を表している。	健康を保持・増進するために、自らの健康管理や環境改善の重要性に関心をもち、生活における健康・安全の課題について意欲的に学習しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	生涯を通じる健康	○ライフステージと健康 ○思春期と健康 ○性意識と性行動の選択 ○妊娠・出産と健康 ○避妊法と人工妊娠中絶	a:ライフステージに応じた健康について理解し、基礎的な知識を基に自己の健康管理や生活の質の向上につながる健康観を持つことができる。 b:性差による意識や行動の違いを理解し、自身の考えや社会的な課題を見つけて整理し、説明することができる。 c:思春期の心身の変化を理解し、責任ある行動や異性への思いやりを大切にしながら、良好な人間関係を築こうとする姿勢を持つことができる。	定期考査	課題に関する学習の成果物 ブレインストーミング 定期考査	課題の成果
		○結婚生活と健康 ○中高年期と健康	a:老化に伴う心身の変化や健康問題を理解し、健やかに中高年期を過ごすための工夫や考えを持つことができる。 b:加齢に伴う心身の変化について理解を深め、高齢者の健康づくりに必要な取り組みについて考えることができる。 c:ライフステージに応じた健康について理解し、自己の健康管理や生活の質の向上、さらに若い世代として社会の課題について主体的に考えることができる。			
		○働くことと健康 ○労働災害と健康 ○健康的な職業生活	a:労働災害による健康被害について理解し、個人だけでなく社会全体の対策を考え、具体例を挙げて説明・記述することができる。 b:労働災害を身近な問題として捉え、その防止策について自身の考えや課題解決策を導き出すことができる。 c:働くことの意義を理解し、それに伴う健康被害や健康管理について意識をもって学ぶ姿勢を示すことができる。			

2	健康を支える環境づくり	○大気汚染と健康 ○水質汚濁、土壌汚染と健康 ○環境と健康にかかわる対策 ○ごみの処理と上下水道の整備	a:環境汚染に関する基礎的な事項を理解し、社会全体で取り組む健康づくりの対策について説明・記述することができる。 b:環境汚染が健康に及ぼす影響について学んだ内容を、自身の生活と比較・分析することができる。 c:環境汚染の原因や健康被害を防ぐための対策を理解し、日常生活の中で自ら意識して取り組むことができる。	定期考査	課題に関する学習の成果物 ブレインストーミング 定期考査	課題の成果
		○食品の安全性 ○食品衛生に関わる活動	a:食品の安全性を理解し、社会的な取り組みやその必要性について説明することができる。 b:食の安全をめぐる課題を理解し、自身の生活を振り返って分析し、改善点を見出すことができる。 c:日常生活の中で「食の安全」に関心を持ち、健康被害を防ぐための意識や行動に主体的に取り組むことができる。			
		○保健サービスとその活用 ○医療サービスとその活用 ○医療品の制度とその活用	a:保健行政の役割、保健サービス、医療保険の仕組みを理解し、説明することができる。また、医療品の正しい使用方法や、安全性を確保する取り組みについて説明することができる。 b:健康を保持・増進するために必要な制度や活動について理解し、課題を見つけて整理し、説明することができる。 c:健康な生活を送るために必要な医療制度や保健活動について関心を持ち、理解しようとする姿勢がある。			

3	健康を支える環境づくり	○さまざまな保健活動や社会的対策 ○健康に関する環境づくりと社会参加	a:健康の保持増進について理解し、国内外の保健活動や医療制度について記述・説明することができる。また、自分だけでなく世界の人々の健康について考えることができる。 b:健康を保持・増進するために必要な制度や活動を理解し、課題を見つけて整理し、説明することができる。 c:健康な生活を送るために必要な医療制度や保健活動について関心をもち、理解しようとする姿勢がある。	定期考査	課題に関する学習の成果物 ブレインストーミング 定期考査	課題の成果

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度